

IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第16号 発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7121



院長からの贈物、民族衣装アオザイを着た学生たち



院内風景



アオザイを着て



脳外科 小児病棟で患者と両親、平山さん (看護3年)



脳外科 小児病棟で患者と藤井さん (作業3年)

国際ボランティア活動7月31日～8月21日
ベトナム、チョーライ病院 (記事4ページ)

目次

出来事	ページ
学長の日程から	2
大学来訪者	2
お知らせ	2
学生室	2
入試事務室	2
図書館利用の皆さんへ	3
報告	3
教務委員会	3
国際交流委員会	3
紀要委員会	3

情報化委員会	ページ
恭綬褒章受章の榮譽を祝して	3
国際ボランティア活動の報告	4
学科・センターだより	4
看護学科	4
理学療法学科	4
作業療法学科	4
言語聴覚障害学科	4
放射線・情報科学科	4
医療経営管理学科	5
医療福祉学科	5

語学教育センター	ページ
臨床医学センター	5
言語聴覚センター	5
情報教育センター	5
教員紹介	6
サークル紹介	7
15号のクイズの正解	7
当選者発表	7
リレーエッセイ	8
編集後記	8
IUHWクイズ	8

出来事

◇学長の日程から

- *平成9年7月3日(木)
とちぎ新規産業等育成支援会議
- *平成9年7月4日(金)
日本私立看護大学協会平成9年度理事会・総会
- *平成9年7月24日(木)
佐久病院夏期大学
- *平成9年9月5日(金)
小規模作業所パワーアップセミナー基調講演(広島県)
- *平成9年9月19日(金)
小規模作業所パワーアップセミナー基調講演(富山県)

◇大学来訪者

- *平成9年6月26日(木)
学校法人神村学園 神村 数学園長
- *平成9年7月8日(火)
安房郡市広域市町村圏事務組合 15名
- *平成9年8月20日(木)
医療法人心泉会 老人保健施設ローズガーデン 3名
- *平成9年8月28日(木)
福岡県大牟田市議会 4名

◇入試事務室

大学説明会を終えて

夏休みに開催された大学説明会には、7/26日(土)約500名、30日(水)約300名、8/30日(土)約650名もの受験生や保護者の方が本学を訪れました。当日回収したアンケートによると、「とてもためになりました。先輩方のアドバイスもよく分かり、自分が入りたい学科に一層興味が持てました。自分が想像していたよりも先輩方はいきいきしていて憧れてしまいました。」「先生方が若々しくて親しみやすそう。」「学生さんが応援してくれたのでヤル気が出てきました。」など、大好評でした。ご協力くださった皆様、おつかれさまでした。

98年 入学試験日程のお知らせ

試験区分	会場	学部	願書受付期間 【消印有効】	入学試験日	合格発表日	入学手続期間 【消印有効】
高校推薦	大田原	保健学部	平成9年11月1日(土)	平成9年11月15日(土)	平成9年11月26日(水) 午前11時 (本学掲示板)	平成9年11月26日(水)
		医療福祉学部	平成9年11月10日(月)			平成9年12月2日(火)
特別選抜	大田原	保健学部	平成9年11月25日(火)	平成9年12月13日(土)	平成10年1月6日(火)	平成10年1月6日(火)
医療福祉学部	平成9年12月4日(木)	平成10年1月13日(火)				
一般入試	前期日程	保健学部	平成10年1月6日(火)	平成10年2月2日(月)	平成10年2月17日(火) 午前11時 (本学掲示板)	平成10年2月17日(火)
		医療福祉学部		平成10年2月3日(火)		
	保健学部	平成10年1月22日(木)	平成10年2月5日(木)	平成10年2月24日(火)		
	医療福祉学部		平成10年2月6日(金)			
後期日程	大田原	保健学部	平成10年2月20日(金)	平成10年3月16日(月)	平成10年3月23日(月) 午前11時 (本学掲示板)	平成10年3月23日(月)
医療福祉学部	平成10年3月6日(金)	平成10年3月17日(火)	平成10年3月27日(金)			

お知らせ

◇学生室

国際大会で健闘



少林寺拳法が1947年に創始されて今年で50周年、記念大会の意味も込められた4年に1度の国際大会が9月13日、日本武道館にて開催されました。

一般女子二段の部では、旗手もつとめた竹内利江、落合禮子(那須大田原支部)拳士が、一般団体の部では、太田晃弘、三浦大介、伊藤あすか、小野澤詩紀、神林顕、斎藤英樹、岡田恒教、佐藤将樹拳士らが、出場し健闘しました。

嵩山少林寺武僧の表演に会場は湧き、次回、初めて海外で行う国際大会に意欲を新たにしました。

◇図書館利用の皆さんへ

9月12日(金)に、閲覧スペース拡張のため、新たに142席が増設され、現在は425席になりました。

これから、より多くの方々に快く利用していただくためにも、図書館利用の諸注意は必ず守って下さい。

9月16日(火)、22日(月)、F棟101教室にて、図書館主催の映画鑑賞会を開催いたしました。夏期休業中にもかかわらず予想以上の入場があり、アンケートの結果でも、皆さんから好評をいただきました。次回開催は未定ですが、ご意見・ご要望等ありましたら、図書館受付までお願いいたします。

報 告

◇教務委員会

カリキュラムの見直しという大きな仕事

本学は平成10年度で開学4年目を迎える。当初、組み立てたカリキュラムはこの4年目を終えると全体の姿と、さまざまな問題が見えてくる。本学は医療保健福祉サービスに係わる専門技術職の教育を旨とし、7つの学科が設置されているが、これら専門技術の総合的視点を、カリキュラムを通して学ぶことのできる独自性を持つべきと考えている。これからの我が国の医療保健福祉分野はチームアプローチが大きな位置を占めるであろうし、そこで大いに役立つ人材を輩出するのも本学に課せられた一つの役割と考えている。

(杉原素子)

◇国際交流委員会

- 1) 7月3日、県経済交友会主催「国際交流の集い」が宇都宮市で開かれ、留学生4名が参加しました。
- 2) 7月31日～8月21日、国際ボランティア活動がベトナム国チョーライ病院で行われました。出発に先立ち、7月25日に記者発表をし、結団式・社行会で理事長や多数の教職員から激励を受けました。
- 3) 7月25日、留学生懇親会がレストランで行われ、ホストファミリー、教員、委員と歓談しました。
- 4) 8月23～24日、馬頭町ライオンズクラブ主催の「キャンプINばとう」が開かれ、留学生2名が参加しました。

(田中美子)

◇紀要委員会

平成9年度紀要第2巻の発行を目指して委員会活動を本格的に進めております。第3回紀要委員会を6月24日(火)、第4回を7月22日(火)、第5回を9月2日(火)に開催いたしました。紀要の発送先リストについては各学科、各センターから提出していただいたものから重複施設を削除し、整理を行ないました。ご希望の発送先と食違いがあるかも知れませんが、委員経由でご確認ください。また、紀要第3巻については沢山の論文投稿予定をお寄せいただき有難うございました。そろそろ論文原稿を提出していただくこととなりますので、準備のほどよろしくお願いたします。

(野原功金)

◇情報化委員会

平成9年7月16日に第6回情報化委員会を開催しました。議題として、(1)情報メディア部設立報告と情報化委員会との関係 (2)現在の学内LANの整備状況の報告と問題点 (3)大学ホームページの現状報告 (4)図書・掲示板システムの稼働予定が取り上げられ活発な論議が行われました。学内に於けるパソコンの配備は全て完了し、メールを中心としてその利用は徐々に増えており、7月14日には65人/日の利用がありました。インターネットのアクセススピードが遅いという問題に対しては、明確な原因は不明ですが、引き続き調査を行っております。大学全体のホームページが作成され、インターネット上 (<http://www.iuhw.ac.jp>) で見ることができます。図書システム、掲示板システムは現在調整中であり、近々稼働予定となっております。

(樺澤一之)

◇紫綬褒章受章の榮譽を祝して

一飯沼一浩先生にインタビュー



「患者に全く苦痛がなくX線被爆の心配もなく、しかも臨床医の誰もが使える診断装置を」というある日の閃きから昭和46年に研究を始められました。「実用にならぬものに取り組む物好きだ」と批判もある中で、独自の思いを活かした実用化研究をと、信念に燃えて志を貫かれたと伺いました。52年に完成し診断に活かされましたが、更に翌53年ドップラ効果を利用し心臓断面を見ながら血流を診る機械の研究に着手。56年には製品として東芝から世に出ました。以来現在も世界一のシェアを保っています。

先生は幼少の頃工夫して作ることが大好きで食事も忘れて熱中された由。しかもプラモデルのように準備された材料を使うのは好まなかったとのこと。「超音波診断装置の研究は幾多の困難や失敗も、時には厳しい対応に迫られながら、独自の想いを曲げずに完成を見ることができた。その際には同僚や後輩、臨床医の並々ならぬ協力があつたからこそ。」と謙虚に話された言葉の裏に、発明家としての自信と誇りが感じられて、ひたすら頭の下がる思いでした。

紙面の都合で残念ですがほんの一部を紹介します。

(寺沼幸子)

◇ベトナムー神秘的国から友好国へ

チョーライ病院での国際ボランティア活動の報告



メコンデルタで チョーライ病院スタッフと学生たち

ベトナムの朝は早い。まだ薄暗い6時前から湧き出るようなバイクの波ーブンブンという音がエンドレスに真夜中まで続く。ホーチミン市の中心街から西へ5キロ、華僑の大半が住むというチョロン地区にそびえ立つ10階建の大病院ー11人の学生はここで約3週間、外来・入院患者対象のリハビリ科と脳外科、小児入院病棟とで主に活動を行いました。医療スタッフ、患者、家族とのコミュニケーションは笑顔と全身を駆使したゼスチャーで、段々にうちとけていきました。「仕事をさせていただく、現場に入りこんでいく」という精神が徐々に周囲に受け入れられ、スムーズな人間関係が築いていけたように思います。南国特有の底抜けに明るい善良な人柄と家族の絆の強さが心をゆさぶり、近年日本で失われつつある暖かな思いやりの心に一同感動しました。「継続は力なり」と言われます。つたない一歩を踏み出したボランティアの心を更に発展させていきたいと強く願っています。皆さまの暖かなサポート、チョーライの皆さんに深く感謝いたします。

参加者：伊藤珠生、平山香代子、五藤多美子、林由美子、藤井清美、三浦慈子、松本乃里子、浅田一彦、園村志津、照井直美、中新井美紀

引率教員：矢谷令子、川口恭子、田中美子

(田中美子)

学科・センターだより

◇看護学科

ベトナムでのボランティア参加

今年夏のベトナムでの国際ボランティア活動に看護学科からも2名(3年生)の学生が参加し、教員1名が付き添いで同行しました。チョーライ病院では、院長始め多くの方々の熱い歓迎を受け、各科でも暖かく受け入れて下さいました。ボランティア活動を通して触れ合った患者さんたち(特に子供たち)のことは、学生たち1人1人の心に深く残ったようです。一歩日本を踏み出して、同じアジアに住む人たちと、言葉は不十分でも心に触れる交わりを持つことの喜びを味わって来たのではないかと思います。次は皆さんもどうぞ!

(川口恭子)

◇理学療法学科

3年生臨床実習Ⅱ 無事!?終了

理学療法学科1期生である3年生の臨床実習Ⅱが、前半8月4日～23日まで、後半9月1日～20日までの2期に分けて行われました。北は秋田から南は九州福岡まで全国の病院にお世話になり、頑張って帰ってきました。それぞれ成績を戴きましたが、皆共通に勉強不足を痛感したようです。

教員として一言。1期生は、色々アドバイスしてくれる先輩がいないため、ある意味ではかわいそうな面もあります。理学療法士の先輩として相談にも乗ってあげますから、後輩の指導はよろしく頼みます。

臨床実習指導者として一言。解剖学・生理学・運動学などの基礎系の知識不足は否めないようです。専門学校の学生に負けないように頑張ってください。

(江口勝彦)

◇作業療法学科

平成9年度 基礎実習・課題実習(前期)終了

1年生は9月1日～9月5日に基礎実習を、3年生は9月15日～9月26日に学科初の課題実習(前期)を体験しました。1年生は初めての現場となり、これからの道にそれぞれの手ごたえを感じたと思います。3年生はそれまでの勉強を十二分に発揮し!?自分を知る良い機会を得る事が出来たと思います。今回、県内17施設・先輩作業療法士の方々そして多くの患者さんに御協力頂きました。それぞれの方への感謝を忘れず、今回得たものを大切にして今後につなげていってほしいと思っています。

(小林雅子)

◇言語聴覚障害学科

この夏は学生ボランティアの活躍が目立ちました。大学説明会では毎回15名前後が集まりました。3年生が中心となり、後輩を引っ張っていく姿には、頼もしさが感じられました。また、ベトナムのチョーライ病院へは本学科から4人が参加しました。途中、言語障害を持つ患者さんについて尋ねられ、当惑した学生からSOSのFAXが届いたこともありましたが、皆無事に帰国しました。そのほか、言語聴覚センターでの臨床や行事でも学生ボランティアの姿を見かけるようになりました。皆さん、ほんとうにお疲れさまでした。

(古谷三代)

◇放射線・情報科学科

夏休みが終わり、9月29日から後期が始まりました。ただし、3年生の半数は9月16日から臨床(臨地)実習が始まり、すでに実習先に出かけております。期間は7週間です。11月4日からは残りの半数が出かけます。

9月17日にカフェテリア棟において、本学科飯沼一浩教授の紫綬褒章受章記念祝賀会が大学および榎東芝の共催のもと、千保一夫大田原市長はじめ来賓、教職員、学生など多数の参加により盛大に開催されました。永年の研究によるこの受章が本学の今後の発展に寄与するものと思います。飯沼先生からはこの会に学生が参加してくれたことが特に嬉しいとのことでした。

(野原功全)

◇医療経営管理学科

国際ボランティアとチョーライ病院

医療経営管理学科では、国際協力事業団（JICA）の依頼で、ベトナムのホーチミン市にあるチョーライ病院の病院管理支援の活動を高橋淑郎教授を中心に行なっているが、今年8月13日、14日ベトナム南部の病院関係者を集めて、病院管理セミナーを開催した。国際医療福祉大学からの国際ボランティアの学生11名も参加し、セミナーの中でも地域と病院との関わりのボランティア活動の一例として報告され、病院長からも賞讃され、是非来年もとの期待が寄せられた。嬉しいニュースなので一言。

(紀伊國献三)

◇医療福祉学科

はじめての施設見学実習



7月のはじめ、数グループに分かれて近隣の特別養護老人ホーム、老人保健施設、精神薄弱者更正施設を訪れました。社会福祉施設は初めてという学生も少なくなく、職員の方によるガイダンスで大学での学びと現場とを継ぐ手がかりを得ることができました。特に晴風園（特養）では体験学習の機会をいただき、自らへの歯痒さも人と関わる喜びも実感しました。学生各自に様々な印象と思いを残した見学実習は、今後の学びの原動力となることでしょう。施設関係者の皆様、ありがとうございました。

(田澤 薫)

◇語学教育センター

イングリッシュ・イブニング開講

昨年第1回だった英語公開講座を今夏も開講しました。7月29・30・31日の三日間、幅広い年齢層とさまざまな受講者50余名が生きた英語に触れました。昨年も今年もという人達、父子三人で競って頑張った一家、

小学生と中学生の兄弟、そしてクラスの雰囲気を活気づけてくれた事務局の磯さん、理学の西条先生、みんな忘れられない参加者でした。毎年、よりよいプログラムを提供したいと考えています。

(南井紀子)

◇臨床医学センター

学生、教・職員の健診と人間ドック

(1)学生の健診が6月7日から7月5日までの土曜日に行われました。1724名が受診しましたので、今回の未受診者は1割弱でした。

(2)教・職員の健診は7月28日より9月12日までの平日に行われました。一般職員の受診者は61名でしたので9割強の受診率ですが、教員は57名で6割が未受診でした。未受診の方は10月以降に必ず受診して下さい。

(3)早ければ12月から、本学職員・家族の他一般の方も利用可能な人間ドックの開設を現在準備中です。

(山崎統四郎)

◇言語聴覚センター

〈夏期特別プロジェクト〉の開催

開設後6カ月目を迎えたセンターでは、地域におけるセンターの役割をさらに大勢の方々に知っていただくために、8月～9月にかけて〈夏期特別プロジェクト〉を企画・実施しました。内訳は、特定の障害を持つ本人やその家族を対象とした相談会、宿泊訓練、両親教室などが7つ、保健婦、看護婦、保母、幼稚園・小学校教諭などの専門家を対象としたセミナーが2つ。いずれも予想を上回る大盛況！特に、2つのセミナーへの参加者数は計300名を越え、こうした催しを今後も続けてほしいと希望していることがアンケート調査から明らかになりました。

(笹沼澄子)

◇情報教育センター

コンピュータ今昔

真空管式コンピュータが製作されて半世紀。真空管の寿命は数百時間である。18,000本以上の真空管を使ったシステムでは連続稼働時間は数分となる。それでも修理をしながら長期間使用した。現在ではICでありその寿命は半永久的である。しかしどうだろう。世代交代劇は早すぎる。1年で陳腐化、3年で過去の遺物。教育用のコンピュータシステムは既に…である。「ワープロの習得には十分である」と言ったところで秋の空。近い将来に夢を託し、新システムの検討を開始しました。

(菊地義信)

教員紹介

(毎号、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。)

①所属・職位②生年③出身校④専門分野⑤直前の勤め先⑥主要著書・論文どちらか1点のみ⑦本校における担当科目⑧趣味。

池松裕子 (いけまつ ゆうこ)



①看護学科・講師②40年前の勤労感謝の日③ケースウェスタンリザーブ大学看護学部修士課程④クリティカルケア看護⑤横浜市医師会保土谷看護専門学校⑥臨床看護学叢書第2巻「経過別看護：第1章 急性期にある患者の看護」

(メヂカルフレンド社) ⑦クリティカルケア看護、臨床看護実習Ⅲほか⑧編み物。中学生の頃から編み始め、これまで随分たくさんセーターを編みました。数年前から手掛けている大作を、今年こそは完成させたいと思っているのですが、そのような時間が作れるかどうか…。

江口勝彦 (えぐち かつひこ)



①理学療法学科・助手②1961年(昭和36年)③社会医学技術学院、放送大学④理学療法、運動生理学⑤茅ヶ崎新北陵病院リハビリテーションセンター⑥「実験的肺拘束時・肺閉塞時の運動に対する呼吸応答」(運動生理)、1989

⑦理学療法各種実習等⑧多趣味!? (スキー、スキューバダイブ、マウンテンバイク、料理、読書、etc…)

矢谷令子 (やたに れいこ)



①作業療法学科・教授②1934年③米国ミシガン州ウエスタンミシガン大学大学院作業療法学科④作業療法概論、作業療法倫理学、作業療法管理・運営学など⑤札幌医科大学保健学部作業療法学科⑥作業療法概論(協同医書出版)、1995⑦作業療法適用学、作業療法計画学、循環/呼吸器疾患作業療法学など⑧更紗絵

福永真哉 (ふくなが しんや)



①言語聴覚センター・助手②1963年9月24日③筑波大学第2学群人間学類④神経心理学⑤福岡長尾病院・国立病院九州医療センター⑥右利き交叉性失語を呈した日本語と韓国語併用者一例の検討⑦臨床実習⑧バイクツーリング

秋貞雅祥 (あきさだ まさよし)



①放射線・情報科学科・教授②1926年③東京大学医学部④放射線医学(画像診断学)⑤多摩健康管理センター⑥

The present and future aspects of PACS activities in Japan, Integrated Diagnostic Imaging (editor JPJ de Valk) Elsevier

Science Publishers BV (Amsterdam), 1991. Dec. ⑦画像解剖学、医用画像技術学実験⑧切手収集

高橋 泰 (たかはし たい)



①医療経営管理学科・教授②昭和34年4月25日③東京大学医学部大学院④高齢者ケア、医療情報⑤東京大学医学部附属病院中央医療情報部⑥TAIビジュアルケアプラン作成(日経BP出版局)

⑦健康と疾病、診断・治療総論、高齢

者ケア論⑧スキー、旅行(学生時代より放浪癖が強く、インド、ネパール、チベットなどを回っていました。過去5年間で太平洋13往復、九州50回以上訪問しています。最近の仕事のみの移動が多いので、シルクロードや中南米、アフリカなどの一人旅を夢見しています。)

東口重信 (ひがしぐち しげのぶ)



①医療福祉学科・教授②1941年③同志社大学、国立秩父学園附属保護指導職員養成所④障害者福祉・教育相談⑤国立秩父学園⑥こどもから大人へ(第三文明社)⑦障害者福祉論、社会福祉援助技術演習、社会福祉援助技術現場実

習、障害者福祉特別講義⑧登山、写真

掛川曜夫 (かけがわ てるお)



①医学教育センター・教授②1930年3月17日③慶応義塾大学医学部④消化器外科等に食道を含む上部消化器癌の外科治療⑤久留米大学医学部第1外科主任教授⑥食道癌の外科(医学書院)⑦作業療法学科、理学療法学科において

は外科学総論、各論一般。看護学科においては消化器の外科⑧読書(特に洋の東西を問わず歴史物を好む)、スポーツ(学生時代ボート選手として早慶戦全日本選手権に出場した経験あり)



細井良三 (ほそい りょうぞう)



①情報教育センター・助教授②1936年8月12日③大阪府立大学工学部電気工学④並列処理、ハイパーフォーマンス・コンピューティング⑤日本アイ・ピー・エム(株)東京基礎研究所、ハイパーフォーマンス・コンピューティング・センター

⑥Direction of Technical Computing⑦情報科学、情報科学演習、計算機学(コンピュータ・アーキテクチャ)⑧登山(昔は穂高連峰、剣岳の岩壁で岩登り、今は100名山歩き)、スキー(ハの字スキー)、囲碁(自称4級)



秘境黒部峡谷を危険地帯の入口まで行き、黒部の絶景と黒部ダムの放水を正面から見ることができました。3日に百名水の水を汲んで浄土山・雄山・大汝山・真砂岳・別山と5つの山を1日で連登してきました。天気は途中から霧・風の悪天候になってしまいましたが、大汝山頂から時折絶景を見ることができました。4日に日本最高所の温泉で疲れを癒し帰途に着きました。とにかくみんながんばりました。お疲れ様でした。

(放・情 坂本裕明)

サークル紹介

◇山岳スキー部

5つの山を踏破ノ 山岳スキー部夏合宿報告

私達山岳スキー部では、8月1日～4日にかけて富山県の剣・立山連峰に行ってきました。2日に日本の

◇与一まつりに留学生参加



IUHWクイズ当選者発表

多数応募の中から、正解者は3名でした。厳正な抽選により、言語3年の緒方悦子さんが第3回IUHWクイズの当選者に決定しました。正解は下記の通りです。回答者のみなさん、ご協力ありがとうございました。緒方さん、おめでとう。

- (1)自分の欠点に気付かず他人の欠点をあざ笑うこと。
→猿の 笑い
- (2)人らしい心のない人間。
→ のない猿
- (3)得意なはずのことでも頼むと意地悪をしてなかなか承知してくれない。
→猿も頼めば
- (4)人に対するには何事も下手に出るのが賢明であるというたとえ。
→猿の
- (5)まったく反対の行動をとるとたとえ。
→猿の 、魚の木登り



キリトル

キリトル
キリトル

学科 言語聴覚障害 学年 3

名前 緒方 悦子

解 答

(1)猿の 尻 笑い

(2)毛 のない猿

(3)猿も頼めば 木に登らぬ

キリトル
キリトル

(4)猿の もみ手

(5)猿の 水練、魚の木登り

リレーエッセイ

香りを聞く

理学療法学科 藤沢 しげ子

夏も終り、大学も新学期の準備が始まりました。草刈りの最中とみえ、青草の匂いが一面に満ちています。大田原は自然の豊かな地域です。夏草の匂い、夕立ちの雨の匂い、水田を渡る風の匂い、朝露の匂い、夕方どこかで火を焚く匂い等々。何故か懐かしく、心に染み入るように感じられます。幼い頃を過ごした信州の記憶が引きよせられるのでしょうか。匂いは不思議な力を持っているようです。ブルーストの紅茶の香りのように。そんな匂いの魅力に引かれて開香を始めました。数種の香木を小さな香炉の雲母枝の上で焼き、香炉を順に廻して、香を聞いて（開香では香を嗅ぐのではなく聞くのだそうです。）香名を当てるのです。

嗅覚と短期記憶を必要としますが、これがなかなか難しく、鼻は良い方と自負していましたが、初回から自信を砕かれてしまいました。

同じ香木でも香の立ち方は火の強さ等で異なり、必ずしも同じ香りになるとは限りません。そこが難しく、面白い処でもあり、奥の深い遊びと思っています。

なかなか定期的に通える時間がないのが残念です。

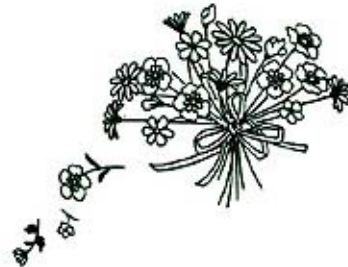
次回執筆者：黒澤美枝子（医学教育センター）

編集後記

閑散とした校舎に学生達が帰ってきて大学全体が活気づく10月となりました。一期生が三年生となり、各学科で様々な形態の実習を経験し、夏を過ぎてひときはひきしまった表情に見えるのは実習につきそった者のひいき目でしょうか。

今号では紫綬褒章を受章された飯沼先生に編集委員の寺沼先生がインタビューをしました。30分近いお話の中に飯沼先生の人となりを感じられたそうです。

限られた文章の中で全部をお伝えできないのが残念です。
(菅原洋子)



IUHWクイズ ー第4弾ー

賞品はなんと全国共通遊園地券をペアで!

動物好きのあなたに贈る「雑学クイズ」ノ～カメレオンの死ぬとき～

問題は4択2問、解答番号を□へ書き込み、事務局窓口外側のメールボックスへ。全問正解の方の中から抽選で1名に全国共通遊園地券をペアでさしあげます。応募資格はIUHWの学生で、1人1通、締切は11月15日。

問1. 黄、緑、黒灰色に色を変えるカメレオン。死んだら何色になるか?

- (1)死ぬときの周囲の色によって違う。
- (2)死ぬときの感情や状況によって違う。
- (3)本来の色に戻る。
- (4)マーブル色になる。

問2. イルカが会話する動物であることはよく知られている。では別々の海域にすむイルカ同士はちゃんとコミュニケーションできるだろうか。

- (1)イルカ語は万国共通だから問題ない。
- (2)普段は地元のことばを使うが標準語もある。
- (3)バイリンガルのイルカが通訳をする。
- (4)ことばの違う海域のイルカ同士は会話をしない。

キリトル

キ リ ト ル	学科	_____	学年	_____
	名前	_____		
キ リ ト ル	解 答	_____		
	問1.	_____		
	問2.	_____		